

2025年度データヘルス研修会

# データヘルス推進に向けた取組等について

---

健康保険組合連合会  
組合サポート部

# 目 次

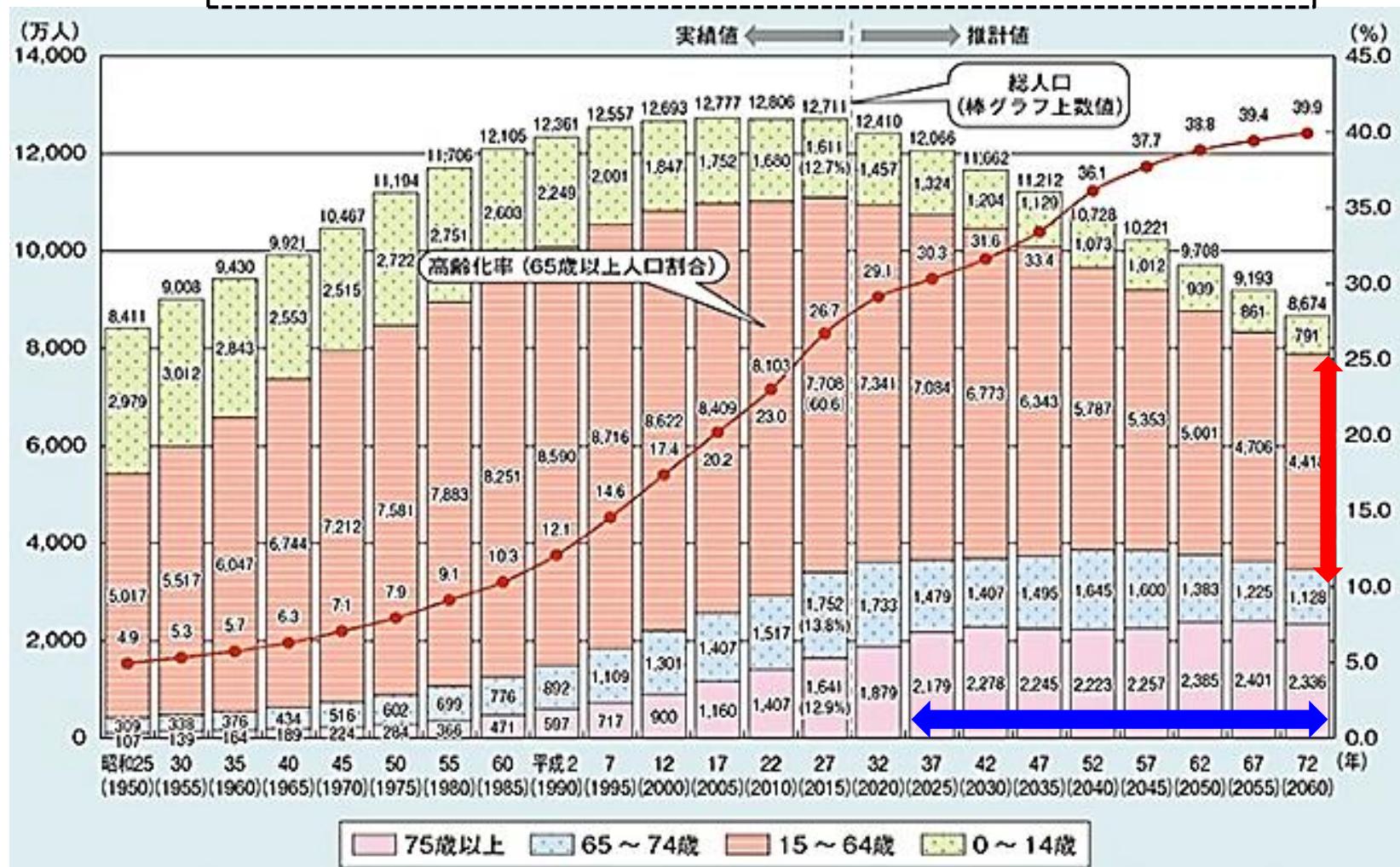
---

● 保健事業とは	.....	3
・ 保健事業の政策的な意義	.....	3
・ 健保組合の保健事業の法的根拠	.....	4
・ 各指針の整備（保健事業指針、THP指針、健康経営度調査）	.....	5
・ 「ポスト2025」健康保険組合の提言	.....	6
● 女性の健康、若年層対策等の直近の取組	.....	9
● 令和6年度出産・子育て補助金 好事例紹介	.....	10
● 令和7年度医療DX補助金	.....	11
・ 概要	.....	11
・ 本部事業	.....	13
・ 健保組合事業（申請状況、好事例）	.....	14
● データヘルス・ポータルサイト	.....	16
・ 相互閲覧機能	.....	16
・ 外部委託事業者の閲覧機能の見直し	.....	17
● 保健事業の課題	.....	18
● たばこ対策	.....	19
● 事例紹介	.....	23

# 保健事業の政策的な意義

## 日本の人口推計と高齢化率の推移

○高齢者人口 ⇒ 2025年以降の伸びは穏やか  
○生産年齢人口 ⇒ 2025年以降の減少が加速  
現役世代の健康がより重要になる



# 健保組合の保健事業の法的根拠

健保組合は**健康保険法第150条**に基づき、**保健事業**を加入者の実態や特性に応じて、事業主と連携しながら実施している

## 健康保険法 150 条

糖尿病等の予防による医療費を適正化するため、40歳以上の加入者に対し、特定健診・特定保健指導を行う

健康教育・健康相談及び健康診査並びに健康管理及び疾病の予防に係る**自助努力の支援**に努める

## 保健事業

### ●法律で定められた事業（法定義務）

特定健診保健指導 ……**メタボ健診**

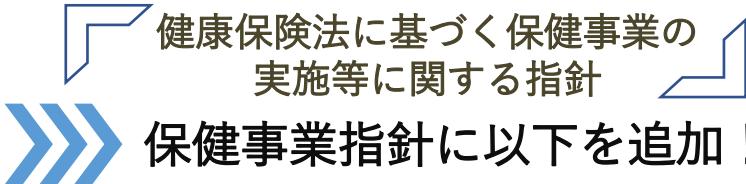
### ●加入者の健康管理等の自助努力の支援（努力義務）

人間ドック、がん検診、歯科健診、健康相談、体力づくり、健康教育・セミナー、予防接種、メンタルヘルス対策、保養所などの提供



## 各指針の整備

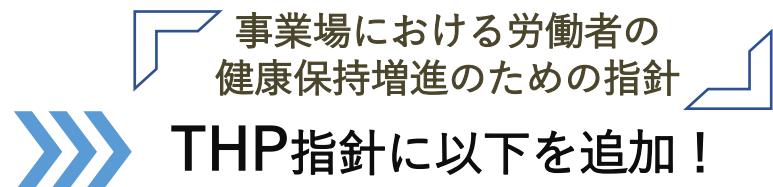
健保組合 2023年8月31日改正・9月1日施行



- ロコモティブシンドローム対策
  - 女性特有の健康課題等、性差に応じた健康支援
  - 四十歳未満の事業者健診データを活用した若年層対策
  - メンタルヘルス対策



事業主 2023年3月31日改正・4月1日施行



- 若年期からの運動の習慣化や、高年齢労働者を対象とした身体機能の維持のための取組を通じてロコモティブシンドromeの予防に取り組むこと



- 女性の健康への対策と高齢従業員が働きやすい職場づくりを進める設問が設置されている
  - プレコンセプションケアの認知と取組み状況を確認できるアンケート設問を追加

# 「ポスト2025」健康保険組合の提言

「ポスト2025」健康保険組合の提言抜粋

## II 加入者(国民)の皆さまへの3つのお願い

### 加入者(国民)の皆さまへの3つのお願い

医療費のしくみや国民皆保険制度の厳しい状況についてもっと知ってください



自分自身で健康を守る意識をもってください。健診をきちんと受けてください

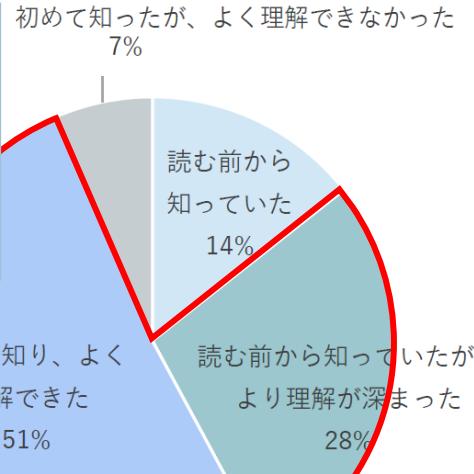


軽度な身体の不調は自分で手当てるセルフメディケーションを心がけてください



### <健保連が実施したアンケートでわかったこと>

Q.健康保険組合は「保険給付」と「保健事業」に取り組んでいるほか、「保険料の4割を高齢者医療費の支援のために支ぶ」としていることを知っていますか



健保連の広報により  
理解した人、理解が深まった人 79%

アンケートの結果から、加入者の理解も深まりつつあることがわかります。しかし、健康保険組合のこと、高齢者医療への現役世代の負担に加えて、まだまだ健康保険には課題があります。

3つのお願いは、健康保険のことをもっと知ってほしい、ともに危機的状況を乗り越えてほしいと考える健康保険組合から加入者(国民)の皆さまへのお願いです。

日本の医療費の仕組みや健康保険制度などについて、正しくご理解いただくためのリーフレットがデジタルブックでご覧いただけます。



<https://www.kenporen.com/health-insurance/medical-question/>

## III-1 健康保険組合の4つの約束

「3つのお願い」をするにあたり、健康保険組合は「4つの約束」をして、加入者（国民）の皆さまの健康の保持増進を支えていきます。



医療費のしくみや国民皆保険制度の厳しい状況について  
もっと知ってください

自分自身で健康を守る意識  
をもってください。健診をきちんと受けてください

軽度な身体の不調は自分で  
手当てるセルフメディケーションを心がけてください

### 健康保険組合の4つの約束で後押し



各種健診を受診しやすいよう、こまめに働きかけます



一人ひとりの健康状態に合わせた  
丁寧な保健指導を実施します



予防・健康づくりに役立つ情報を提供します



職場環境に応じた予防・健康づくりに取り組みます  
(事業主との連携)

事業主の皆さんへの  
お願い

事業主の皆さんには、従業員一人ひとりの健康を守るためにも、健康保険組合との協力をお願いします。それが健康経営の推進にも繋がります。

## Ⅲ-2 健康保険組合が取り組む5つのチャレンジ

健康保険組合は、社会の変化等に対応し、個々の組合の状況、加入者の特性に応じて、先進的な取り組みにチャレンジしていきます。

### 多様な働き方に対応した 保健事業の充実強化



- ・個々の状況に応じた独自の取り組み
  - 高齢就労者に対するロコモ対策
  - 女性特有の健康課題への対応
  - 子ども・子育て支援、外国人対応など

### かかりつけ医との連携



- ・かかりつけ医を選ぶ際に役立つ幅広い情報の提供
- ・疾病予防や健康増進等に寄与する協力関係の推進

### 健康保険組合の 発信力強化



- ・加入者（国民）自身が健康を守る意識を向上するための支援
- ・医療保険制度や医療提供体制等の改革の必要性
- ・健康保険組合の役割や存在意義（広報活動の強化を含む）

### データ分析強化による 加入者サービスの充実



- ・医療DXにより医療機関から得られる各種データや、ウェアラブル端末等から任意で得た情報を活用した個人最適サービスの提供
- ・スマートフォン等を活用した加入者との双方向コミュニケーションの強化（個人に合った情報提供や相談対応等）

### デジタル化による 健康保険組合業務革新



- ・デジタル技術を活用した適用・給付など健康保険組合業務の全般の革新（健康保険組合DX）の推進
- ・電子申請に対応して加入者・事業主の利便性を向上
- ・業務全体の標準化・効率化などに取り組み、加入者サービスを拡充

# 女性の健康、若年層対策等の直近の取組み

新たな分野へのチャレンジ！

## 新たな保健事業への積極的な取組！



健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針改定  
2023年9月1日改定・施行



保健事業指針に以下項目追加！

約7割

- 女性特有の健康課題等、性差に応じた健康支援 → [952 健保組合] ↗ 可能な限り早期に全組合で実施



- ICTを活用した保健事業 → [804 健保組合] ↗ 約6割 ↗ 2030年までに全組合達成

- メンタルヘルス対策 → [654 健保組合] ↗ 約5割 ↗ 2030年までに1,150 健保組合

- 40歳未満の健診データを活用した事業 → [557 健保組合] ↗ 約4割 ↗ 2030年までに全組合達成

- 口コモティブシンドローム対策 → [194 健保組合] ↗ 約1割 ↗ 2030年までに500 健保組合

※[ ]内の数値は、現在すでに取組んでいる健保組合数

※数値は、R6の実績報告をもとにポータルサイトより事業分類またはキーワードにより抽出

## 【事業区分①:こどもの健康につながる適正な医療実現に向けた取組】

事業	事業目標	事業概要・ポイント
オンライン診療による月経随伴症状・更年期対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>性別に関係なく一人ひとりの能力、個性を発揮できる環境づくりを推進。</li> <li>その一環として月経随伴症状・更年期症状に悩む女性加入者に対して支援プログラムを提供し、不調の改善や仕事のパフォーマンスを高めることを目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業主と連携して月経や更年期に関するアンケートを実施の上、啓発セミナーを開催。</li> <li>希望者にはアプリを活用したオンライン診療サービスを提供。アンケートにより利用者のパフォーマンスの改善度等についても測定。</li> </ul>
婦人科かかり付け医の受診勧奨・専門医直結の妊活サポートによる健康推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>不妊治療の保険適用が開始されたこと等を踏まえ、ヘルスリテラシー向上及び婦人科かかり付け医・不妊治療専門医と加入者の関係構築をサポートする。</li> <li>これにより、女性特有の疾患や不妊治療による様々な負担を軽減し、出産・子育てを含む、自らが希望するライフプランの実現を支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>産婦人科医によるオンラインセミナーを開催するとともに、Web問診により加入者の健康状況をモニタリング。</li> <li>職場や自宅に近い婦人科のかかりつけ医を紹介したうえで受診勧奨を行っている。</li> </ul>
感染症対策・適切な抗菌薬の使用等・上手な医療のかかり方の啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>被保険者のヘルスケアに対するリテラシーを向上することで、被保険者を通じて子どもをはじめとする被扶養者の健康維持増進につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>親子参加型のイベントで上手な医療のかかり方の啓発を実施。</li> <li>実験やゲームなど体験型の講義を行うとともに、夏休みの自由研究等にも活用できるような工夫も盛り込むことで、子どもの関心を引き、理解を深めているようにしている。</li> </ul>

## 【事業区分②:各種検診受診率向上に対する環境整備事業】

事業	事業目標	事業概要・ポイント
健康課題を抱える女性加入者向けの個別支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>月経やメンタルヘルス不調に伴う業務や日々の生活に支障がある自覚をしているものの、専門医を受診していない女性加入者が適切に受診し、早期に改善に繋げていくことを支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>月経困難症・PMS・月経不順、気分障害等の項目を含む独自の問診項目を設定し、女性加入者の健康状態等を把握。</li> <li>単独もしくは複数のリスクが高い女性加入者をリスク別階層化し、グループごとに最適な勧奨文章を作成・送付。</li> <li>受診勧奨の文章は産婦人科医・産業医が作成。</li> </ul>

## 【事業区分③:健康教育・健康相談、各種研修会、セミナー、イベント等の実施】

事業	事業目標	事業概要・ポイント
プレコンセプションケア等に関するワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>食生活バランスの重要性や「痩せ」に対するリスクを知り、その対処が自身で取り組むことができるよう正しい知識を習得し、行動変容できることを目的とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験型セミナー（料理教室）の実施に加え、看護師によるプレコンセプションケアに関する説明をグループ対話形式で実施し、参加者のリテラシー向上につなげている。</li> <li>事業主とは参加勧奨で連携するとともに、健保組合からアンケート結果をフィードバックしている。</li> </ul>
女性の健康増進のための事業所における環境構築支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>創業間もない中小企業を中心とした加入事業所における、女性従業員（被保険者）のライフステージの変化および心身の健康に配慮した職場環境の整備の構築を支援することで、被保険者の健康増進および離職防止に貢献する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「女性の健康増進」と「ジェンダーダイバーシティの改善」を目的とし、加入事業所の規模及び業種に適した就業規則の雛形および解説記事を社労士と共同で作成。</li> <li>事業運営にあたっては産業医や婦人科医とも連携。</li> </ul>

# 令和7年度 医療DXを活用した保健事業の取組等に対する財政支援

令和6年度補正予算案 15.3億円

保険局保険課  
(内線3245)

施策名：医療DXを活用した保健事業の取組等に対する財政支援

## ① 施策の目的

## ② 対策の柱との関係

I	II	III
	○	

骨太方針2024において、医療データを活用し、医療のイノベーションを促進するため、必要な支援を行いつつ、政府を挙げて医療・介護DXを確実かつ着実に推進するとされていることから、全国医療情報プラットフォーム等を活用し、共有される種々の情報（医療・薬剤情報・特定健診等情報等）を用いた保健事業の取組等を健康保険組合が行うことで、医療DXの促進及び保険者機能強化を図る。

## ③ 施策の概要

健康保険組合連合会及び健康保険組合が取り組む、次の事業に対する支援を行う。

- ・全国医療情報プラットフォーム（NDB等）における情報に基づいた保健事業、出産・子育てや女性の健康課題に関する保健事業への支援 等

## ④ 施策のスキーム図、実施要件（対象、補助率等）等



※事業内容に応じて一定の割合を補助

### 【健康保険組合連合会事業】

- ア) 医療DX等を活用した保健事業の分析とこれに基づくDH計画等の標準化
  - イ) 保健事業における外部委託事業にかかる評価指標の検討とデータヘルスポートサイトへの実装
  - ウ) ICTを活用した都道府県連合会による共同事業

### 【健康保険組合事業】

- ア) アプリ等のICTを活用した健診申込及び受診勧奨等の保健事業
  - イ) ネットワークを用いた医療機関と連携した検査結果の把握や民間PHRを活用した保健事業
  - ウ) 女性の健康づくり、出産育児支援のために実施する効果的・先進的な保健事業等（コラボヘルスを含む）の取組

## ⑤ 成果イメージ（経済効果、雇用の下支え・創出効果、波及プロセスを含む）

健康保険組合等が取り組む事業の一部を補助することで、医療DXの推進や出産・子育ての安心につながる環境整備を図る。

## 執行予定額内訳（概算）

15.3 億円

健保連事業

1.4 億円

- NDB調査研究事業【新規事業】
- データヘルスの標準化及びデータヘルス・ポータルサイトの改修【一部継続事業】



健保連

健保組合事業

13.9 億円

- ICTを活用した各種健診受診率向上に資する取り組み
- 健康管理アプリを活用した事業
- 子どもに対する適正受診、適正服薬通知事業
- 子ども・女性の健康をテーマとしたセミナー
- 子ども・女性の医療・健康相談 等

※申請総額が予算を超過した場合は交付率を乗じることになります。



健康保険組合

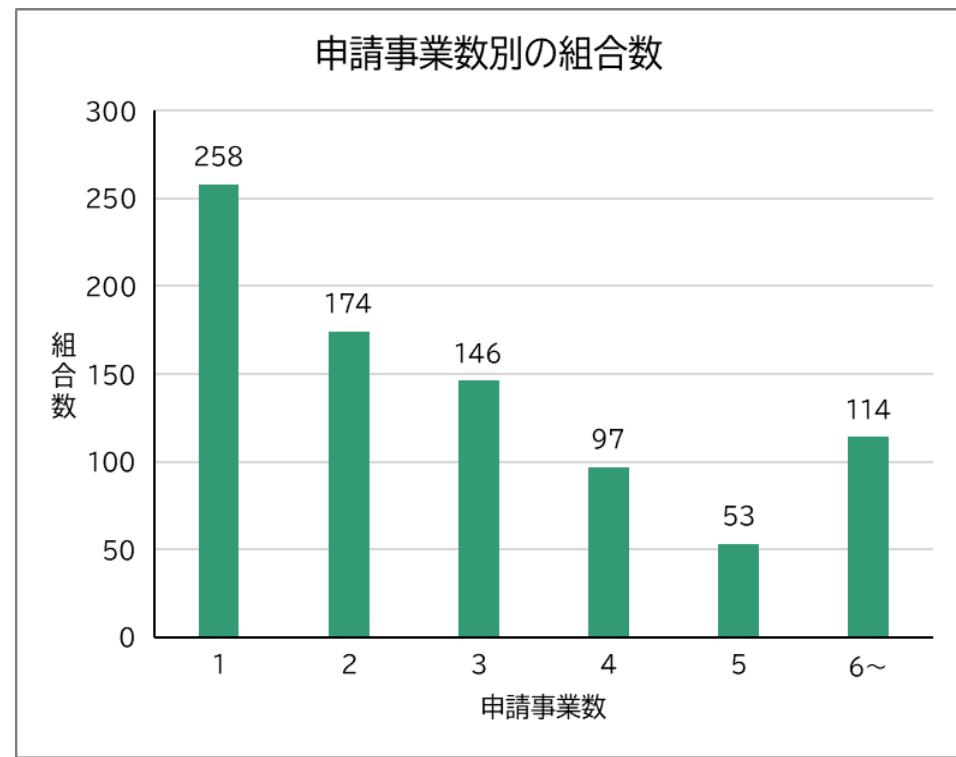
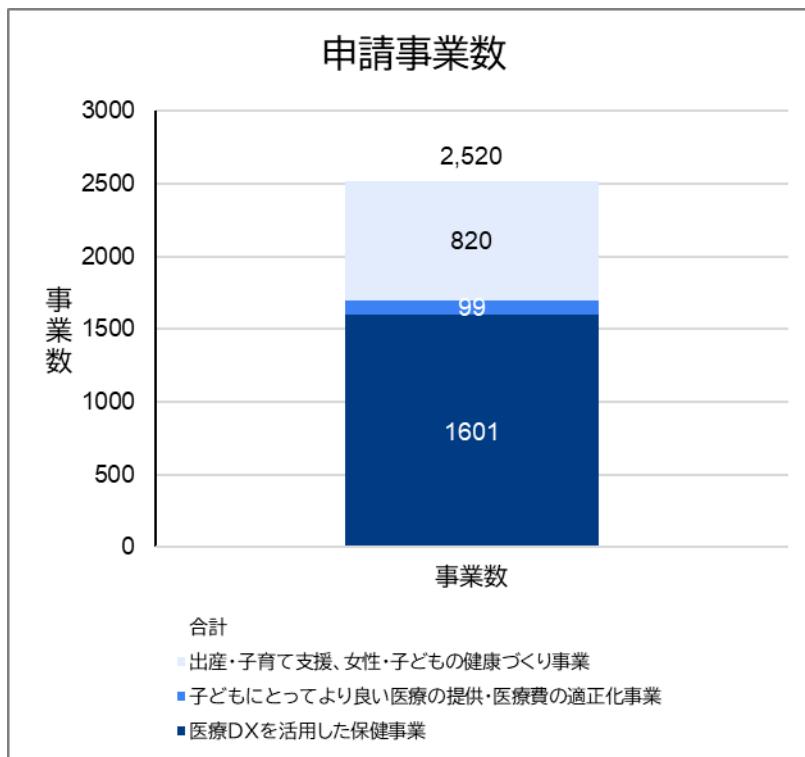
## 健保連本部の事業（案）

	事業	目的	アウトプット
医療DX補助金	①NDB調査研究事業 【新規事業】	特定保健指導の効果に関するNDB分析を行い、効果的な保健指導に資するデータを得る	<ul style="list-style-type: none"> <li>分析結果の公表</li> </ul> <p>※NDBデータの提供に時間要する可能性があるため、年度内の公表可否は不透明</p>
	②データヘルスの標準化及び データヘルス・ポータルサイト の改修 【一部継続事業】	DH計画の更なる活用に資する環境整備を行い、効果的な保健事業の実施に繋げる	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部委託事業にかかる評価指標の検討とポータルサイトへの実装(約5,000万円)</li> <li>医療DX等を活用した保健事業の分析とこれに基づくDH計画等の標準化(約4,990万円)</li> </ul>
一般会計	女性の健康づくり、出産・子育て支援  ③横展開 セミナー・事例集 【新規事業】	R6年度補助事業で得られた好事例をセミナーと事例集で紹介し、横展開を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>健保組合向けのセミナーの開催（11月21日）</li> <li>事例集の提供</li> </ul>
	④広報動画の製作 【継続事業】	R6年度に引き続き広報動画等を作成・配信することにより、健保組合の取組を後押しする	<ul style="list-style-type: none"> <li>R6年度に実施し好評を得たDO MY HEALTH！の第7・8話の製作・配信・周知活動（令和7年10月初旬公開予定）</li> </ul> <p>※テーマは上手な医療のかかり方、プレコンセプションケア</p>

## 健保組合の事業

## 申請状況の概要

- 申請組合総数は**842組合**、申請総額は約**46.4億円**に達した。
- 申請事業区分は「医療DXを活用した保健事業」が最も多かった。
- 事業総数は**2,520事業**。組合ごとの申請事業数は「1事業」が**258組合**と最も多かった。
- 共同事業は**35事業**（約8億円）に達した。



\*組合が複数の事業を申請した場合、事業数に合わせて組合数をカウント(3事業申請した場合は3組合とカウント)

\*同事業については代表組合数のみ計上

\*同事業については代表組合数のみ計上

※9/17時点の審査状況をもとに集計

## 【事業区分1：医療DXを活用した保健事業】

事業	事業目標	事業実施計画
ICTを活用した女性の健康課題解決のための保健事業	●女性被保険者が月経随伴症状を客観的に把握し、適切な対処法や行動変容を促すことで、心身の不調を軽減し、労働生産性の向上とウェルビーイングの実現を目指す	●希望者は測定デバイスと専用ナイトブラを提供し、就寝中の温度計測と専用アプリで体調記録 ●婦人科医監修の月経随伴症状や認知行動療法に関する研修動画を配信 ●保健師・産業医による参加者への個別健康相談、必要に応じた医療機関への連携
ICTを活用した若年層向け保健指導事業	●40歳未満の被保険者に対して将来の生活習慣病罹患リスクに関する生活習慣改善を図り、特定保健指導予備群からの脱却を目指す	●40歳未満の被保険者の健診結果から、肥満や高血糖等のリスク者を抽出し、若年層指導の対象者データを提出 ●初回面談（目標や行動計画の設定）を実施し、AIを使った健康管理アプリにて生活習慣の改善を継続支援
ICTを活用した医療・健康相談事業	●個別性の高い医療・健康相談への導線を確保し、かかりつけ医の向上を目指す	●アプリ等を活用し24時間365日電話・メール・面談によって医師、保健師、管理栄養士等の専門職への相談が可能。医療機関の検索も可能
ICT（LINE）を活用した受診勧奨・がん教育等の事業	●各種健診・検診における受診率とリテラシーの向上を目指す	●LINEを通じた各種健診・健診受診勧奨の実施 ●LINEを通じて健康リテラシーを向上する健康コンテンツ（がん教育プログラム、生活習慣病予防情報等）を配信

## 【事業区分2：子どもにとってより良い医療の提供・医療費の適正化事業】

事業	事業目標	事業実施計画
小児を対象とした抗菌薬適正服薬通知事業	●小児における抗菌薬の適正使用と薬剤耐性菌予防の意識を高めることを目指す	●レセプトを活用し抗菌薬処方歴がある6歳～12歳までの被扶養者・被保険者の抽出 ●抗菌薬の適正使用と薬剤耐性菌予防に関する通知物を発送 ●専用窓口を設置し、通知者からの問合せ対応

## 【事業区分3：出産・子育て支援、女性・子どもの健康づくり事業】

事業	事業目標	事業概要
女性サポート相談事業	●乳がんなど女性特有の罹患率の向上等によって女性の健康課題による経済損失の改善に寄与することを目指す	●女性産婦人科による電話相談（予約制） ●妊娠・出産チャットボット ●女性のためのメンタルSNS相談
共同巡回婦人科健診および健康相談事業	●女性特有の健康課題の早期発見・早期対策に繋げる	●複数組合による共同事業として巡回婦人科健診を実施 ●婦人科検診受診を促す健診案内、女性特有の健康課題に対する健康相談、骨密度測定等を提供
女性加入者のヘルスリテラシー向上のためのセミナー等開催および受診勧奨事業	●女性の婦人科の受診ハードルが高いことに着目し、「かかりつけ医」を持つこと、「早期受診」のきっかけを作り、リスクがある方の婦人科の受療率を上げることを図る	●女性のライフステージに応じて現れる疾病やその対処法についてメールやアプリでの情報提供とセミナーを実施 ●参加者へのアンケート（問診）の結果をもとに、希望者に対しては婦人科への早期受診を促す受診勧奨や、相談窓口を提供

# データヘルス・ポータルサイト

## データヘルス計画の相互閲覧機能（令和5年6月実装）

### 機能改善のポイント

- 同業種や同規模など、自組合と属性の似ている健保組合の取組を参照する機能を実装
- 開示する情報の範囲の設定や同意取得画面等の改修により、健保組合間で事業の情報共有と情報交換を促し、健保組合による創意工夫の促進や効果的な保健事業の共有と普及につなげる

A健康保険組合 情報検索

事業検索

● 対象年度  
対象年度 平成30年度

● 事業に関する検索項目

事業分類 選択してください

関連する健保課題  
1. 健保環境の整備  
2. 加入者の意識づけ  
3. 健診販賣  
4. 保健指導・受診勧奨  
5. 健康教育  
6. 健康相談  
7. 後発医薬品の使用促進  
8. その他の事業

プロセス分類

予算科目

対象者分類

アウトプット指標達成度

● 保険者に関する検索項目

組合名  
所在地  
選択してください

形態  
選択してください

加入者数  
～ 人

被扶養者割合  
～ %

特定健診検査実施率  
～ %

特定保健指導実施率  
～ %

同意済みの保険者のみを検索する  
いいえ はい

クリック

さらに詳しい条件を表示する

検索する

さらに詳しい条件を表示する

事業に関する検索項目（事業分類、プロセス・ストラクチャー分類、評価指標等）、保険者に関する検索項目（業種、加入者数、所在地等）で事業の絞り込み検索

10 事業名 ウォーキングプログラム  
健保課題との関連  
・特定保健指導の対象者割合が低い。

分類

注1)事業分類  
計画 5-イ. 運動習慣改善 実施主体  
実績 5-イ. 運動習慣改善 のための事業

注2)プロセス分類  
計画 アケ 実施方法 計画 実績  
実績 アケ

注3)ストラクチャー分類  
計画 実施体制 計画 実績  
実績 実ケ

実施計画 (平成30年度)  
実施状況・時期 あり  
成功・推進要因  
振り返り あり  
運営及び開拓要因 あり  
評価 1. 39%以下

事業目標  
1

アウトプット指標  
イベント告知ポスター貼付 ([現行値] 80% [計画値/実績値] 平成30年度: 100% [達成度] 9%)・事務所にイベント告知ポスターを貼付 (企事業所) [企事業所内での周知 ([現行値] 80% [計画値/実績値] 平成30年度: 100% [達成度] 9%)・健診データに基づく「情報提供」と併せて、ウォーキングプログラムの案内を张贴(100%)[企事業所] 参加者 ([現行値] 350人 [計画値/実績値] 平成30年度: 1人/8人 [達成度] 9%)・参加促進 (被保険者200名、被扶養者200名) [企事業所] [アクトカム開催]  
運動習慣達成率 ([現行値] 40% [計画値/実績値] 平成30年度: 100% [達成度] 9%) 運動習慣の定着 (1日9歩を3か月以上; 参加者の50%以上) [企事業所]

他組合の計画書（予算額・決算額を除くSTEP4-1の内容）の閲覧が可能※

※他組合の保健事業の詳細情報を閲覧していただくためには、自組合の保健事業の詳細情報の閲覧も可能であることの『相互閲覧機能についての同意』をいただくこと必要がある。

DX補助金に申請された組合は、12月の実績報告までに相互閲覧に同意してください。  
同意がない場合、申請総額から2割減

# 外部委託事業者の閲覧機能の見直しの方向性

## 現在の閲覧機能の画面

外部委託サービス情報検索

事業者ユーザー向け：登録・編集はこちら

外部委託事業者が提供する外部委託事業サービスを検索することができます。  
また、事業者ユーザーはログインして外部委託事業サービスを登録、編集することができます。

サービス提供可能都道府県	栃木県
事業分類	<input type="checkbox"/> データヘルス計画策定支援 <input type="checkbox"/> 特定健診 <input type="checkbox"/> 特定保健指導 <input type="checkbox"/> 重症化予防 <input type="checkbox"/> がん検診 <input type="checkbox"/> 痢疾健診 <input type="checkbox"/> 健康づくり事業 <input type="checkbox"/> 後発医薬品事業 <input type="checkbox"/> その他の業務支援
事業者名	

戻る    検索する

検索結果 1件

サービス 提供可能 都道府県	事業名	事業者名	事業分類	事業内容	対象者			
					被保険者	被扶養者	その他	年齢
茨城県 他	産業保健に関するオンライン研修会	MRIヘルスケアサービス	その他の業務支援	本研修会は新人産業看護職、産業看護職・安全衛生担当者向けの「産業保健」の基礎的な知識を学ぶオンライン型の研修会です。 これから産業保健に興味がある看護職の方、産業保健に携わる予定の方、産業保...	•	•	-	- - 对象地域は関東1都6県（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県） - 対象年齢は16歳以上74歳以下（事業対象期間内に対象年齢内であれば対...

事業者が登録した情報を閲覧できるが、  
 • 画面が分かりにくい  
 • 外部委託事業者に対する健保組合の評価を確認できない

見直し

## 評価機能のイメージ（案）

### 健保組合の評価を可視化

総合評価 ★★★★☆ 3.3 (登録組合数: 250組合)

評価は〇〇時点の投稿をもとに集計しています。

目標の達成状況 4.2

価格の妥当性 3.5

コミュニケーションの円滑さ 3.9

自組合での継続意向

継続して活用する 継続して活用はしない 未定

他組合への推薦

推薦する 推薦しない

令和4年度 総合健保

総合評価 ★★★★★ 5.0

他組合へ推薦する

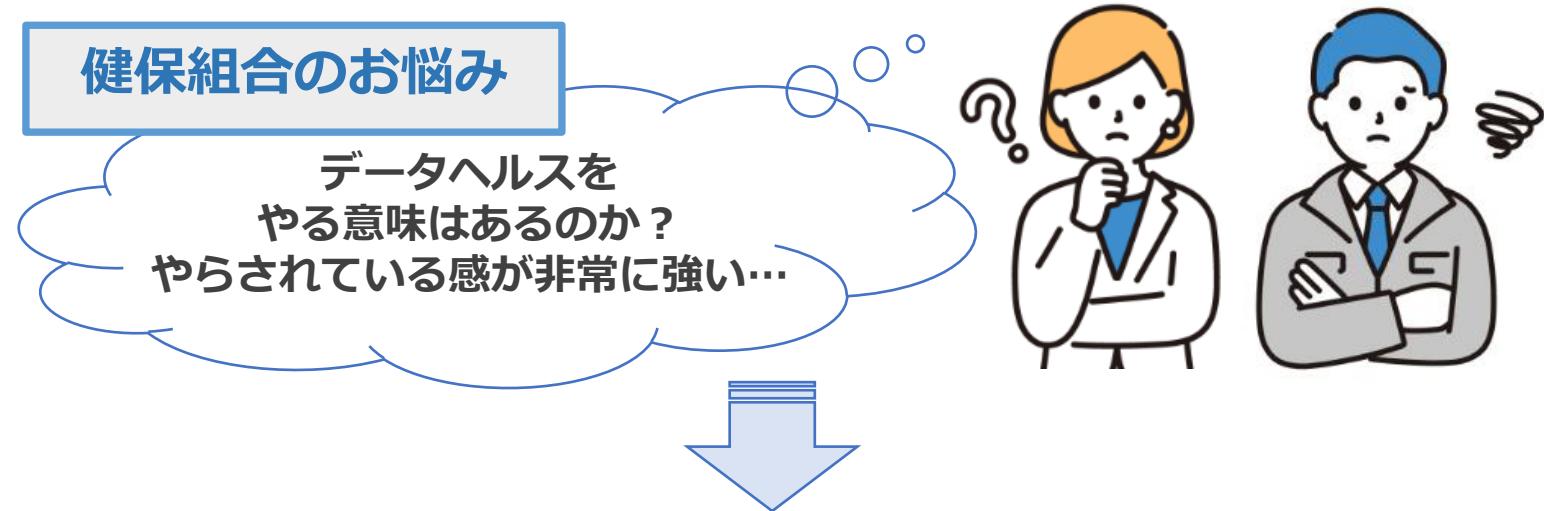
要望事項への対応が早く、効果検証レポート等、タイムリーにご対応いただけた。  
保健師・管理栄養士等の専門職もあり、現場の意見も提供してくれるため推薦したい。

※画面はイメージ案

今後の検討事項 ※令和7年度末の実装に向けて、関係者間で検討中

- ・評価の見せ方（指標、算出方法、更新頻度、点数の見方など）
- ・評価にあたってのガイドライン整備
- ・不適切な内容があった際の問い合わせ方法
- ・免責事項（掲載情報の正確性、リンク先の安全性など）

# 保健事業の課題



社会情勢の変化に基づき、コラボヘルスで取り組む健保組合の  
保健事業は非常に意義が高く、従業員のウェルビーイングにつながる

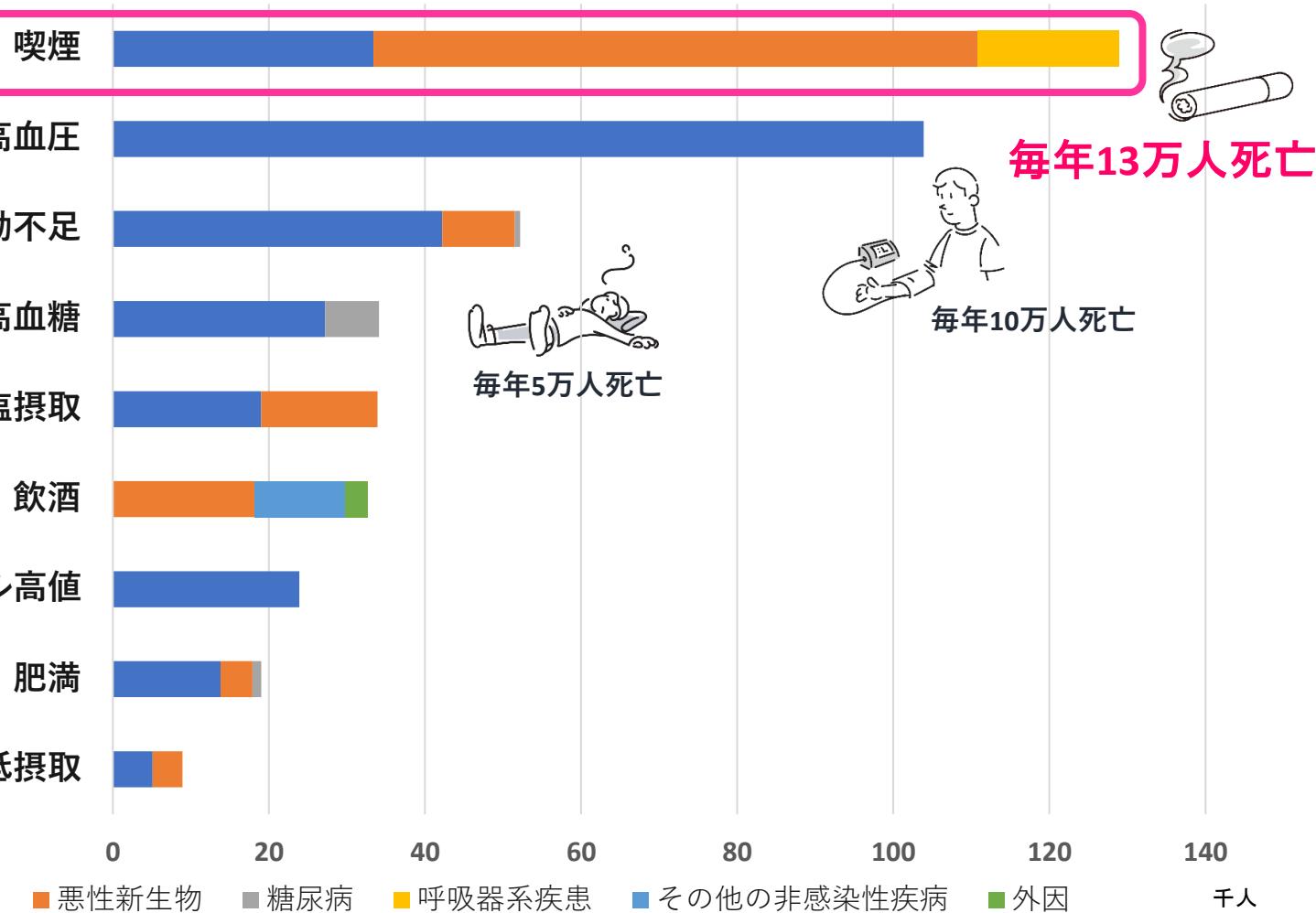
II

データヘルスの推進で働く世代をサポート

# たばこ対策

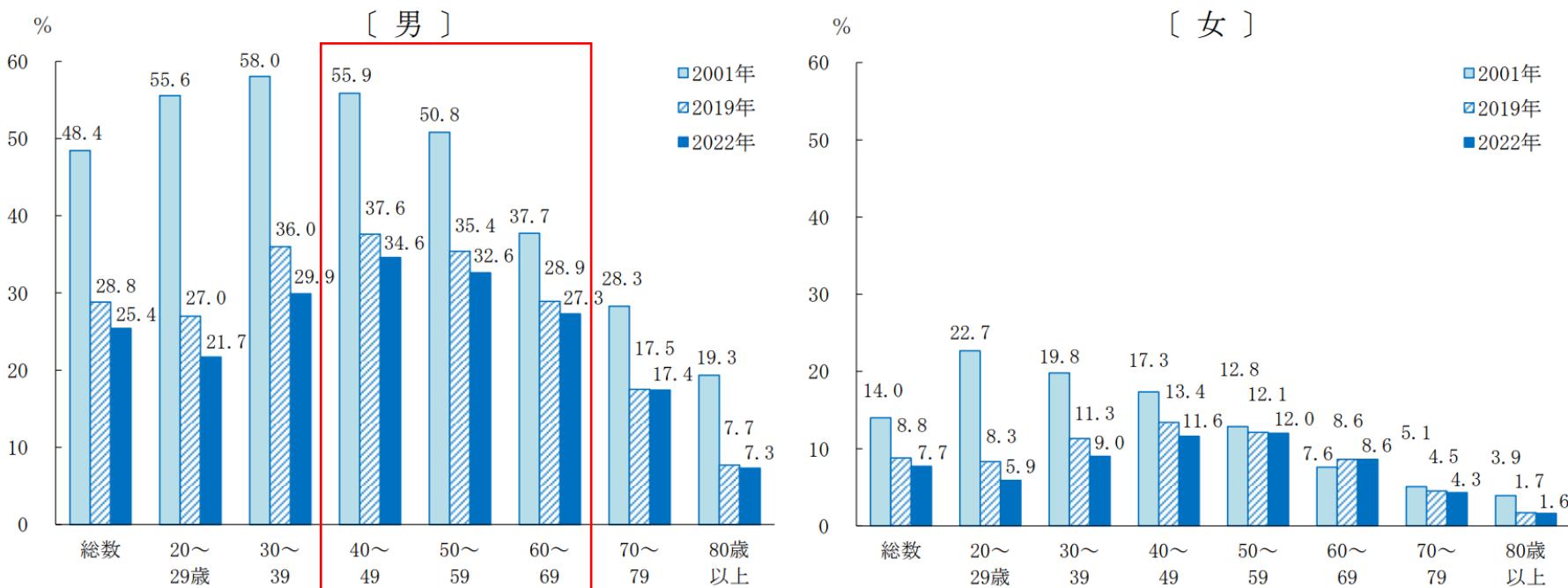
## 喫煙が原因で毎年13万人が死亡！？

喫煙が死因  
第1位



## 働く世代の男性喫煙率はいまだ高い

図 21 性・年齢階級別にみた喫煙している者の年次比較



注： 1) 20歳以上の者(入院者は含まない。)について集計した。

2) 「喫煙している者」とは、「毎日吸っている」又は「時々吸う日がある」と回答した者の合計である。

出典：厚生労働省 2022年（令和4）国民生活基礎調査の概況（令和5年7月4日）

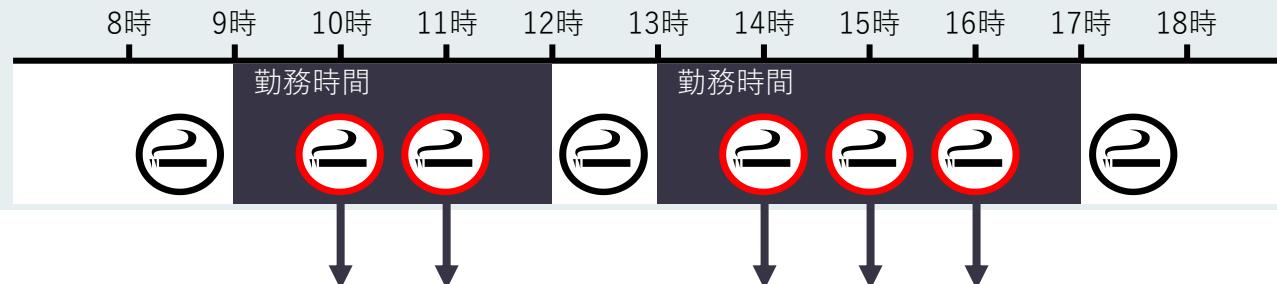
# 喫煙による労働時間のロスは年間32.6万円

## 勤務中の喫煙による離席

厚生労働科学研究費補助金

職域における効果的な禁煙支援法の開発と普及のための制度に関する研究より

1時間に1本喫煙する場合、勤務時間に5回離席



1回の喫煙タイムを7分とすると、

1日に **35 分間** の職場離脱となります。

残業代を1時間2,025円※とすると、

1年間で約 **32.6 万円** もの労働時間のロスです！

※厚生労働省 毎月労働統計調査 令和6年度分結果確報より算出  
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/monthly/r06/24fr/mk06fr.html>



## 禁煙と特定保健指導の関係

腹囲	追加リスク ①血糖 ②脂質 ③血圧	④喫煙歴	対象	
			40-64歳	65-74歳
$\geq 85\text{cm}$ (男性) $\geq 90\text{cm}$ (女性)	2つ以上該当	あり なし	積極的	動機付
	1つ該当			
上記以外で $\text{BMI} \geq 25$	3つ該当	あり なし	積極的	動機付
	2つ該当			
	1つ該当			

※1 服薬中の者については、医療保険者による特定保健指導の対象としない。

※2 前期高齢者（65歳以上75歳未満）については、積極的支援の対象となった場合でも動機づけ支援とする。

令和7年度集合契約Aの契約料金

**動機付支援の費用=約 8,500円**

**積極的支援の費用=約 25,000円**

その差は  
**約16,500円**

## 事業の背景

糖尿病のリスク保有者や適切な運動習慣を有する者の割合が業態平均、組合平均より高い

### 外部委託

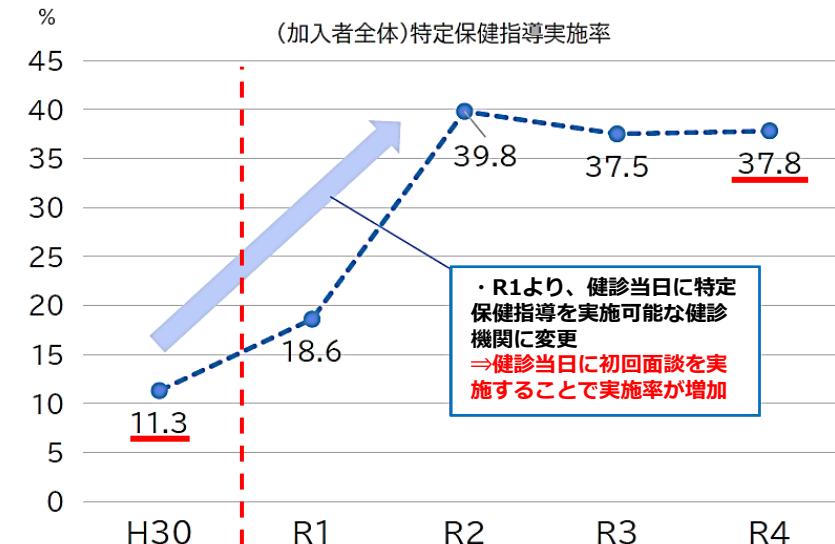
## 委託先との協力体制構築で実施率UP

- 特定保健指導の実施率が低かったため委託事業者を見直し。  
**特定健診当日に健診機関で特定保健指導をするよう切り替え、実施率が11.3% ⇒ 37.8%に改善した。**

### コラボヘルス

## 事業主からの参加勧奨

- 健診結果は事業所にも通知されるが、保健指導を受けていることも併せて周知されるため、事業主から参加を勧奨した。
- 指導中に返信のない方には、**健保組合から事業主へ連絡、事業主から対象者へ指導の継続を指示**して脱落を防止。



事業の実施率・実施量 (アウトカム評価指標)	評価指標	評価指標の定義		実績値					
		計算方法	用いるデータ	H29	H30	R1	R2	R3	
共通 アウトカム (2)	(加入者全体) 特定保健指導による 特定保健指導対象者 の減少率	特定保健指導対象者 の減少率	被保険者と被扶養者の値の合計	法定報告値	16.0	16.0%	14.3%	24.3%	20.7%
	(被保険者) 特定保健指導による 特定保健指導対象者 の減少率	対象で無くなった人 数	前年度に特定保健指導を受けた人 のうち、当該年度に特定保健指導の 対象で無くなった者的人数(A)	法定報告値	61	64	62	33	56
		対象者数	前年度に特定保健指導を受けた人 数(B)	法定報告値	362	406	426	138	227
		減少率	特定保健指導対象者の減少率 (A/B)	法定報告値	16.9%	15.8%	14.6%	23.9%	20.2%
	(被扶養者) 特定保健指導による 特定保健指導対象者 の減少率	対象で無くなった人 数	前年度に特定保健指導を受けた人 のうち、当該年度に特定保健指導の 対象で無になった者的人数(A)	法定報告値	4	8	5	4	7
		対象者数	前年度に特定保健指導を受けた人 数(B)	法定報告値	43	44	43	14	28
		減少率	特定保健指導対象者の減少率 (A/B)	法定報告値	9.3%	18.2%	11.6%	28.6%	25.0%

特定保健指導  
対象者の減少率  
がUP

## 事例紹介2：静岡県農業団体健康保険組合

## 事業の背景

- ・平成中頃より医療費・納付金の増加により保険料率の引き上げが続いた。事業の見直しを行い、保健事業は縮小傾向
  - ・事業所（JAグループ）も経営環境が厳しくなり収益体質の強化を進め、労働人口の大幅減少の影響もあり少数精銳化し、一人にかかる業務量が増え、不調を訴える職員が増えてきた。コラボヘルスを強化し、事業主と一体となって取り組みを進める必要があった。

コラボヘルス

## 事業主との関係性を強化

- 事業所の役員改選の時期に合わせ、**事業主・人事担当役員・人事担当部署長等**を対象にした**健康経営セミナー**を開催。事業所の経営者層に健康経営の意義、健保の状況等を理解を促す。
  - 内容は「健康経営とは何か」「実践している企業を招いて取り組みを聞く」「農団けんぽの事業の活用例」等

コラボヘルス

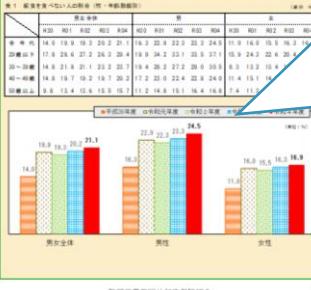
## 健康課題の共有ツールを作成

- 事業所への課題共有と具体的な解決施策を提案するため、レセプト管理・分析システムを活用して「農団けんぽの健康白書」「健康管理データの集計結果」を作成。毎年データを公表、説明することで健康課題が理解されてるようになった。

## ▽農団けんぽの健康白書

朝食を食べない人の割合

平成20年以降は国民の習慣化が進んでいたため、今後も年々減少傾向に変化がある。今後4年間では特に20歳以下の新規喫煙者が増えており、特に男性は37.1%と50歳位と比較して高い傾向にある。



# 農團けんぽの健康白書 －令和4年度版－

機械に対するコンタクト感覚となることを目指します。

 静岡県農業団体健康保険組合

**特定健診質問票**から、  
朝食・睡眠・運動習慣・喫煙者・習慣的飲酒者・食事が噛みにくい、ほとんど噛めない人・20歳の体重より10kg以上増加している人の割合、  
**健診結果**から、肥満者・高血圧・高血糖・メタボ該当予備軍の割合、  
**レセプト**から・受診者数・医療費総額・診療日数それぞれ上位5疾病の割合を集計

### ▽健康管理データの集計結果

令和4年度 事業所と減価保全会合の現況						***
1. 総括	J	A	O	○	減価 保全会合	個 全 体
①被 依 倒 営 所 数		1,672	人			12,416
②被 依 倒 営 所 値		932	万			8,159
③被 依 倒 営 所 額		613	万			6,176
④( ① - ③ )		643	万			647.16
■ 本 所	額				\$21,865	
■ 保 険 施 行 費 額		239,244	万		276,005	
( 保 険 施 行 費 )		194,541	万		( 181,432 )	
( 保 険 施 行 費 )		44,703	万		( 92,573 )	
■ 納 付 金 ( 合 )		188,994	万		185,764	
■ そ の 他 支 出		50,519	万		47,758	
■ 事 材 出 計		476,177	万		510,227	
■ 事 材 一 価		26,870	万		12,128	

2. 生活習慣	喫煙・飲酒・肥満・運動の実態				周 年 率	保 健 全 体
	J	A	O	S		
① 糖質食を食べない人(%)	240	(17.1%)	260	(21.1%)	2,560	(21.1)
② 総糖質/炭水化物の割合が低い人(%)	393	(28.1%)	414	(34.7%)	9,187	(28.1)
③ 脂質食を食べない人(%)	1,166	(83.2%)	282	(21.0%)	2,575	(21.2)
④ 食事による運動(%)	185	(13.2%)	21	(1.6%)	2,194	(13.1)
⑤ 運動(%)	169	(13.9%)	1,613	(12.0%)	3,941	(13.7)
健保全体と	53	(25.2%)				

農団けんぽの健康白書と同じデータを健保全体と事業所で比較したものにプラスして被保険者一人あたりの収支状況や、事業所が気になる「ガン、高血圧、糖尿病、精神疾患」での受診者も集計

# 事例紹介3：平和堂健康保険組合

## 事業の背景

- 特定健診の質問票の結果から、「運動習慣」においては「1回30分以上の軽く汗をかく運動」の実施率が低い。「喫煙習慣」では、全健保と比べ女性の喫煙率が高い
- 「健康分布」の全健保との比較では男女とも「肥満」の割合が高い。女性では「非肥満」の「基準範囲内」が極端に低く、「肥満」の「服薬投与」は高い

## コラボヘルス

### 管理職の健康意識を高める

- 人事部の健康サポートセンターの医療職と連携して、**健康管理事業推進委員会や健康経営推進委員会で課題を共有した。**
- 特に二次検査対象者になっている管理職に積極的に受診勧奨し、**管理職自身の健康意識を高め**、職場の健康状態に気を付けるよう促した。

## ICT

### アプリによるオンライン面談

- アプリを活用した保健指導を導入したが、設定や操作サポートが不十分等の理由で実施率が低かった。  
導入済のアプリ（PepUp）にZoomによる保健指導を一元化すると、操作面での不安が解消し、実施率が向上。
- 初回面談後の脱落危機者に対し、**アプリ通知等で理由を把握しフォロー**。健保側の進捗管理や督促が容易になった。

#### ①初回面談

好きな時、好きな場所で実施



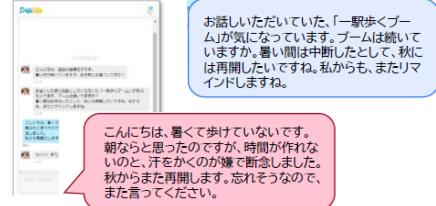
#### ②活動報告

面倒な活動報告が不要  
PepUpの日々の記録がそのまま連携



#### ③チャット

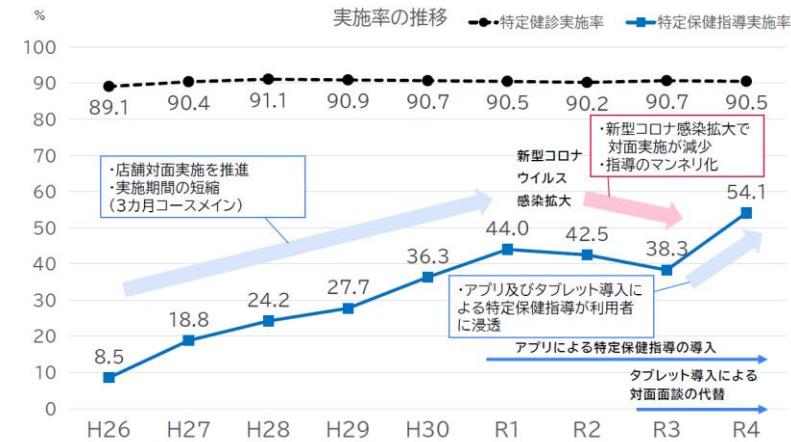
好きなタイミングで  
サポーターに相談



- なじみのあるアプリだから安心、操作がわからなくても**周囲の人に気軽に聞ける**。
- PepUpで完結（特別なアプリは不要。R4年よりZoom可に）
- 健保管理画面で進捗管理が容易に。健保からの**通知・督促がタイムリー**に実施できる。

事業の実施率・実施量 (アウトカム評価指標)	評価指標	評価指標の定義		実績値					
		計算方法	用いるデータ	H30	R1	R2	R3	R4	
独自	データヘルス計画で設定しているアウトカム評価指標	実施者の健康改善	前年度積極的支援だった人内の、当該年度で改善した人の割合 (改善した人・動機付け・情報提供・服薬指導に変更)	自健保のデータ		38%	36%	32%	44%

改善した人の割合がUP



# 事例紹介4：ボッシュ健康保険組合

## 事業の背景

- 2015年に国によるデータヘルス計画が始まった際、健保が健康施策を展開していく上で良いチャンスと捉え、既存の事業を整理、見直すとともに、いくつかの新しい施策の導入等を検討
- 医療費総額割合のうち、歯科医療費がトップであった。以前から希望者向けに歯石除去を実施していたが、関心を持つ層の参加に限定されており、全員を対象とした歯科検診が必要と認識

## コラボヘルス

### 他との比較で自分の健康状態がわかる「通信簿」の作成

- 事業所の健康状況を他の事業所と比較し「事業所データヘルス通信簿」として通知。事業所の健康意識の変化を促す。
- 全従業員の中で自分の健康状態がどの位置にいるかが分かる「健康サポート便」を個人向けに送付。

#### 1. 事業所データヘルス通信簿

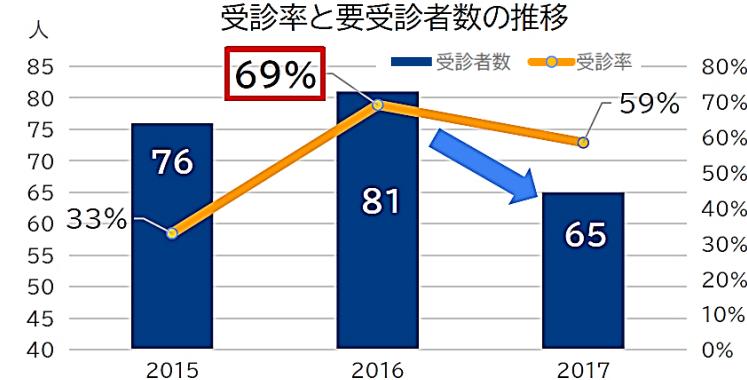
事業所の立ち位置を他事業所との比較で把握



#### 2. 健康サポート便（個人向け）

- 自宅に持ち帰って確認できるようにA5サイズで配布
- 内容:健保所属の保健師が作成したコメントを判定ごとに表示

- 約400名規模の工場でトップダウンで受診勧奨実施
- 要受診者受診率が33%⇒69%に増加
  - 翌年要受診者数が20%減少



## コラボヘルス

### 全員を対象とした歯科のアプローチ

- 歯科検診結果とレセプトのデータ分析結果に基づき、特に結果の悪い拠点に対策を実行。
- 安全衛生委員会で健保所属の歯科医から情報提供・改善策を提案しサポートを行う。

#### 歯科事業内容（事業主向け）

##### ① 保健事業体制

- 定期健診と同時に歯科健診を実施

##### ② データの利用率：情報提供

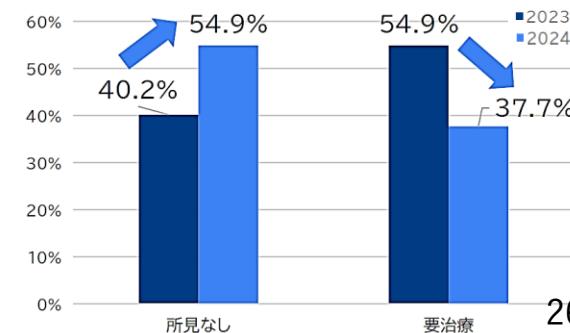
- 要治療率3年間連続でワースト2位以内の事業所を選定
- 安全衛生委員会で健保所属歯科医による情報提供、改善策を提案

- 食堂等での歯磨きセットの配布
- 食堂等にポップの設置
- 歯磨きポスターを掲示

etc.

在籍者100人強の工場での実施例

歯科検診判定: 2023, 2024年度



## 事例紹介5：関東ITソフトウェア健康保険組合

## 事業の背景

- ・7000社を超える適用事業所は規模が様々。可能な範囲でコラボヘルスの拡大が必要
  - ・健診データの共同利用で保健事業の効果の底上げが可能

コラボヘルス

## 事業所とのデータ共同利用

- 事業所と健康情報に関するデータを共同で利用する体制を整備
  - 特定保健指導や各疾病予防事業の**対象者に健保組合と事業所の双方から働きかけ、コラボヘルスを推進する仕組みを構築した。**

- 現在、ITSコラボヘルスに参加している事業所数は、 54事業所（組合員 45,754人）

- 現在、データの協働利用に参加している事業所数は、130事業所（組合員115,552人）

- 現在、**健康企業宣言STEP1**に参加している事業所数は **585事業所**（組合員**155,640人**）、  
その内銀の認定を取得した事業所数は、 **367事業所**（組合員**109,690人**）

- 現在、**健康企業宣言STEP2**に参加している事業所数は **61事業所**（組合員**20,856人**）、  
その内金の認定を取得した事業所数は、**21事業所**（組合員 **6,684人**）

- 健康経営優良法人2024認定法人の概要

<b>大規模法人部門（ホワイト500）</b>	<b>認定事業所数 11 社</b>	(同時に認定されたグループ会社 5社)
<b>大規模法人部門</b>	<b>認定事業所数 68 社</b>	(同時に認定されたグループ会社 11社)
<b>中小規模法人部門（ブライト500）</b>	<b>認定事業所数 6 社</b>	
<b>中小規模法人部門</b>	<b>認定事業所数 113 社</b>	

#### ▽事業所とのデータ共同利用のための書面

**株式会社 ○○○○○○○○○○○○○○**

**関東ITソフトウェア健康保険組合**

ほしのくに

「加入者高齢化率を認める我が国は、日本再開発局に掲げた「国民一人ひとりの健康寿命の延伸」を目的としたのですから、「健やかで生き生きしている方ができる社会」の実現を目指しています。これを実現するためには、経済・医療・医師・医療機関などの医療制度や施設は自らに連携し、種々な地域で具体的な取り組みを実行していくことが求められます。

「医療扶助費の算出基準」を目標すべく、会員と相談員との連携（「コラボヘルス」）をより一層推進し、効果的かつ効率的な事業の実現に向けて、健診結果等の情報を会員と健保組合で共有・活用することになりますので、会員の個人情報・医療費に関する法律第23条第5項第3号の規定に基づき、下記となりおりお知らせします。

**事業目的及び内容** 生活習慣病の予防を目的に下記①、②の事業を実施します。

**別添資料**

巡回薬剤師（薬機付け支援又は構築的支援）、受診状況  
します。

への受診勧奨

糖尿病性腎症重症化予防プログラム、高血圧・糖尿病受診勧奨プログラム

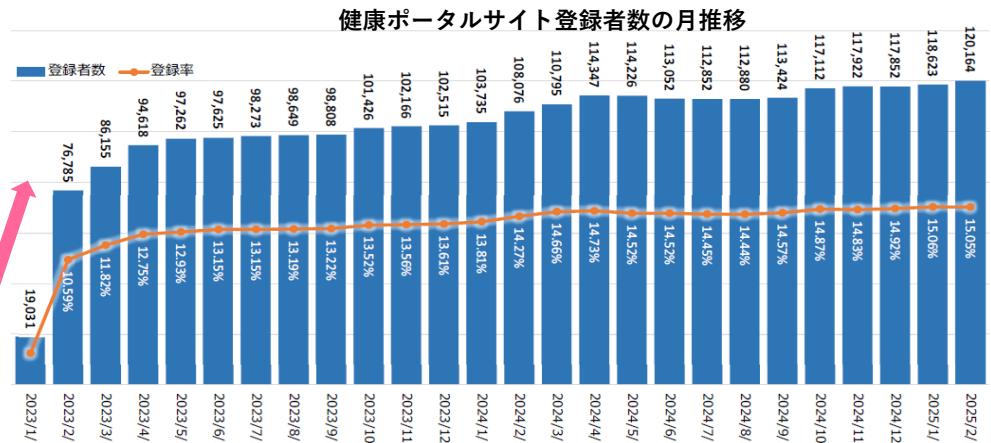
対象者情報（ほせきのうじょう）を共有し、健保組合による

特定保健指導、受診勧奨の判定値を通知。  
対象者がいた場合、該当する重症化予防プログラムに参加するように健保と事業所の双方から働きかける。

## ICT 健康ポータルサイト登録の工夫

- 2023年1月に利用者（被保険者と被扶養配偶者を対象）に向け圧着はがきを送付。SNSで大きな反響があり、初年度の目標45,000人をクリアし、2025年2月には12万人が登録。

## はがきによる 登録案内を送付



# 事例紹介6：デンソー健康保険組合

## 事業の背景

- 2020年度の特定保健指導実施率は28%。国の目標値55%以上、健保の目標値80%に未達
- 経営陣・マネジメント陣は健康保険組合について十分理解できていない

## 新しい取り組み

### 特定保健指導の強化

21年4月～	<ul style="list-style-type: none"><li>健保の費用負担を50%⇒100%へ変更 (2.6億円の投入で70億円の増加リスクを低減)</li><li>各社トップ支持下での必須教育化を要請 (各社との個別zoom会議で直接要請)</li></ul>
22年度～	<ul style="list-style-type: none"><li>39歳以下へのメタボ予防対策導入</li></ul>
23年度	<p>&lt;40歳以上&gt; ◆特定保健指導の当たり前化による保健指導対象者率の低減 ・特定保健指導実施率（完遂率）80%以上かつ特定保健指導対象者率15%以下</p> <p>&lt;39歳以下&gt; ◆40歳になってからでは手遅れのため、若年層向けにメタボ予備軍対策を7社→15社へ拡大 ・40歳以上の指導が「当たり前化」できているG社へ拡大導入</p>

## 新しい取り組み

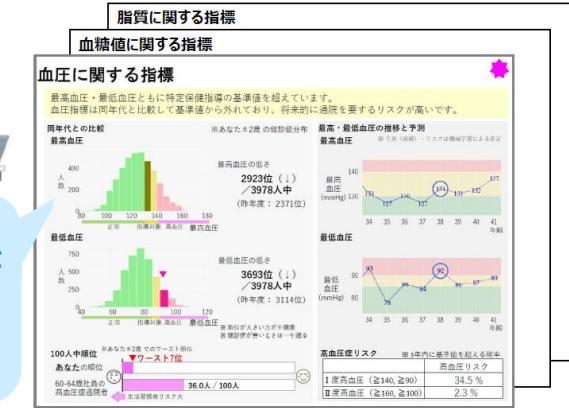
### データを活用した個人別将来予測シミュレーション

- 現在の健康状態を正しく認識できるように、同年代(±2歳)と比較した結果を表示する
- 自身の過去の健診データから、3年先までの健康状態の推移及び生活習慣病発症リスクを推定
- デンソー社内健康アプリ（DKS）を活用している人は、昼食摂取傾向も提示



周囲(同年代)との比較、  
および将来予測(リスク)を  
データで具体的に示す

→より強い気づきで  
行動変容を促す



## 新しい取り組み

### レセプトデータを活用した個人別の予防アプローチ（トライアル中）

セルフメディケーションの推進	花粉症の医科レセプト有りの人(服薬者)のデータ把握 → 類似成分のスイッチOTC医薬品への切り替えをメリット含めて案内 (本人:通院の時間削減＆医療費低減、健保:医療費低減)
医科レセプト(生活習慣病)と歯科レセプトの相関分析	生活習慣病の定期通院者を対象に、歯科レセプトの有無を把握 → 歯科レセプト(歯周病予防・治療)が発生していない人に対して歯科受診を勧奨
医療データと健診データの分析によるハイリスク者への予防アプローチ	生活習慣病の定期通院者を対象に、定期健診時にコントロール状況を把握 → コントロール不良者へ個別注意喚起(含む転院アドバイス) → 医療機関別のコントロール状況の良／不良者の割合を分析し、地域別の推奨医療機関をリスト化し、産業医と共有化